



町長日誌 No.153

町長日誌の第153号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

7月20日(水) PM4:00

いったいいつ頃から曇って、雨が降って、気温の低い天候が続いているのかさえ忘れてしまうほど肌寒い7月も下旬となりました。やっと今朝9時ごろから陽が差し始め「暑いな！」と思うぐらいなのですが気温は16度程度でやはり寒い夏です。いわゆる「オホーツク海高気圧」の勢力が強く関東付近にまで影響を及ぼしているようで、なかなか関東も梅雨明けにならないようです。明日は、その東京に出張なので、あのじめ〜とした湿気を考えると正直気乗りがしませんが、これも仕事ですので仕方ありませんね。

先程、沙留中学校3年生安藤楓佳さん、2年生の菅原玲奈さんと池田美梨さんの三人が町長室を訪ねてくれました。彼女たち3人は先日行われました中体連地区大会で、それぞれ上位入賞し全道大会出場が決まった報告です。安藤さんは走り幅跳び、菅原さんと池田さんは走り高跳びで1位、2位となりました。特に菅原さんは、今年卒業した先輩の柴田瑞紀さんの大会記録を上回りましたので、全道大会での活躍が期待されます。3人の可愛い笑顔に花が咲いたような町長室でした。全国大会目指してファイト!!

7月5日(火)

紋別地区の老人クラブ研修大会が中央公民館で開催され、御挨拶をさせて頂きました。2階講堂に溢れんばかりに200名近くの会員が5市町村から集まり講演会やゲーム、カラオケなど楽しい一日を過ごされたようです。現在、高齢者の割合が戦後最大となっていますが、老人クラブへの加入率は減少する一方です。これには様々な原因があるのですが、働いている方も結構いらっしゃいますし、様々な娯楽や趣味のサークルなどが存在することもあります。反面、引き籠りがちの高齢者も増えていて、社会から孤立している場合も少なくありません。特に男性にこの傾向が多いようで、老人クラブで会話や趣味を楽しむような活動が今こそとても大切なのです。役場の福祉担当職員や社会福祉協議会などから様々な発信をしても届かないことがあります。こんな事を云うとお叱りを受けるかも知れないのですが、「如何に上手に歳を重ねるか真剣に考えてほしい!」と思います。病気や薬など体の知識、介護や福祉などの制度、どうすれば最期まで自立して暮らせるか?などを学ぶこともこれからの高齢者には必要です。勿論、定期的に集まりに参加したり、歌を唄ったり、お酒を飲んだりすることも大切です。しかし、皆さんの子供時代の家族制度は崩壊したと言っても過言ではありません。お金を出して介護してもらう時代になったのです。だから、高齢者にも「老いる覚悟」が必要なのだと私は思うのです。

7月13日(水)

戦後71年目の戦没者追悼式を午前10時から中央公民館で行いました。168名の戦死者に黙とうを捧げ、全員で献花を行い今年も平和を誓いました。年々ご遺族の参加が減り10数名の出席でした。自治体によってはこの追悼式をいつまで続ける?という話も聞かれます。よく「国の責任」という言葉を耳にします。国の命令で戦地に行かされ戦死をしたのですからもっともなのですが、では、「国」とは誰なのでしょう?政府や首相が国なのでしょう?国会議員が国なのでしょう?私は国民=国だと思い追悼式に臨んでいます。直接私が関わっていないとしても、この国で生活し多少の恩恵を受けていればそれは国の一部であるという考えです。ですから、私は町長として興部町の歴史の総ての結果が現在であるのだと思い毎日の務めに望んでいるつもりです。ですから、式辞でも申し上げたのですが、「一年に一度は戦死された皆さんの名前を読み上げ、二度と戦争はしませんと誓う日が戦没者追悼式と考えまちづくりを進めます。」この気持ちで、来年も追悼式を行います。

7月17日(日)

今年の運動会のトリを飾る沙留保育所の運動会が9時30分から保育所横のグラウンドで行われました。朝は霧雨模様で心配されましたが、保育所のある場所は案外暖かく、まずまずのコンディションでした。自分より大きな大玉ころがしやお父さんに乗せてもらえる一輪車リレー、そして上手に踊れた遊戯など、とてもかわいらしい子どもたちでした。私も来賓の皆さんやお父さんお母さん達と真剣に大玉ころがしリレーなど3つの種目に参加して楽しませて頂きました。皆さん本当にお疲れ様でした。

参議院選挙が終わり、8月に入ると組閣が行われるようです。そして大型補正予算が編成されるようです。今年春には、道路や土木関連の予算が据え置かれていますので、国土交通省を中心に大型補正予算枠の確保を狙っているようです。私もしっかり予算確保に向けて情報収集を行いたいと思っています。それでは、海水浴に行きたくなるお祭り日和の夏になるように願いながら、では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。